



Lynx

2013-6

for PRESS

風の強い日には、この弾道で攻める。

Lynx DI ドライビング鍛造アイアン登場!

新溝ルール適合



株式会社リンクス(代表取締役 木村真一郎)は、ドライビング鍛造アイアン「Lynx DI」(リンクス・ディーアイ)を2013年6月より発売します。ロフト角16°と19°をご用意しました。

特 徴

■ショートウッドには出せない弾道・打感。

操作性に優れ、ラインも出しやすく、意図しないボールの曲がりや極力少なくするLynx DI(ドライビングアイアン)登場です。もちろん真芯で球を捉えた時の感触と弾道はショートウッドには出せません。

ロングアイアンはミドルアイアンやショートアイアンに比べると長くてロフト角も立っていますから、それらと比較すると難しいクラブと言えますが、その分ロングアイアンで打ち続けるとミドルアイアンがショートアイアンの感覚で、ショートアイアンがウェッジの感覚で打てるようになってくるはずです。

16°と19°の2種類のロフトをご用意。ラウンドコースに応じて、あなたのバッグに忍ばせてみて下さい。

次ページへつづく



for PRESS

特徴

■アイアンが得意でウッドが苦手な方に。

最近男子プロの間でも7番ウッドや11番ウッドなどを使う人が増え、その影響からショートウッドが、もてはやされています。確かにウッドというクラブの構造から重心深度が深く、球が上がり易いという点、ラフなどからでもソールが滑って打ちやすいという点、慣性モーメントが高くミスヒットに強いという点は、確かにアイアンと比べると利点と言えます。しかし、それらの点は良い面ばかりとは限りません。

重心距離が短かければそれだけヘッドを返すのに力はいりませんし、操作性が高いということを意味します。慣性モーメントが高いクラブは開いたり閉じたりしながら、入ってきたフェイスをスクエアに戻すのが難しくなるのがショートウッドの特性です。

■短めのネックとソール側に残した重量により低重心となっている。

アイアンが得意でウッドが苦手な方には最適です。ロングアイアンを使うプレーヤーでも、通常3番まででしょう。そんな中、ドライビングアイアンを使いこなすことは、とてもかっこよく映るものです。

さらに正確性を追求するなら、ロングアイアンのほうが向いていると言えます。

ドライビングアイアンの利点は、ボールが「上がりづらい」こと。フェアウェイウッドやユーティリティはボールをやさしく上げられる反面、ボールを低くコントロールすることは難しいのです。風の強い日などは、ドライビングアイアンのほうが方向も飛距離もコントロールしやすいのです。

難点は、使いこなすには相応のヘッドスピードが必要ということ。

ヘッドスピードアップを手伝うシャフトもご用意しています。

低くコントロールしたショットは
ランが稼げるとのこと。

結論 飛距離はしっかり出る。





for PRESS

スペック

新溝ルール適合

	FG-16	FG-19
ロフト角(°)	16	19
ライ角(°)	59.5	
バウンス(°)	3	

シャフト	DG S300 & MODUS3 X	TourAD DI-105s HYBRID
クラブ長さ(インチ)	39.5	40.25
バランス	D3	D2.5
クラブ重量(g)	403	385

素材

- ヘッド：S20
【メッキ】硬質クローム
【仕上げ】サテン
- シャフト：■DG S300(スチール)
■MODUS3 X(スチール)
■TourAD DI-105s HYBRID(カーボン)
- グリップ：ツアーベルベットラバーグリップ



プライス

メーカー希望小売価格

スチール仕様 各¥31,500円(税込)

カーボン仕様 ¥47,250円(税込)

JAN :

4562183580428 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-16 DGS300
 4562183580435 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-16 MODUS3 X
 4562183580442 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-16 Tour AD DI-105s HYBRID
 4562183580459 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-19 DGS300
 4562183580466 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-19 MODUS3 X
 4562183580473 Lynx DI 軟鉄鍛造 IC FG-19 Tour AD DI-105s HYBRID

■made in Japan